

ボーナスカットを許さない！！

他人事のように返答する管理者を許さない！

会社は、12月2日に年末手当の明細書を社員一人ひとりに配布しました。

その中で、私たち東海労大交両分会組合員一人に対して根拠のないボーナスの5%カットの攻撃がかけてきました。

組合員が管理者に聞きに行くと「そうですか」「それならそういうことなのでしょう」と答えたのです。現場からの報告に基づいて、ボーナスカットをするのであって支社に報告をした管理者が他人事のように対応をしたことじたい、資質が問われます。

また、関西地本内では、14名（12月7日現在）の組合員も同じようにボーナスカットがかけられてきています。

会社は、49歳から10年間の内に3回の懲戒処分、5回のボーナスカットを受けると60歳以降の再雇用はされないことを利用して、私たち東海労組合員を職場から追放を狙った攻撃を仕掛けてきているのです。それは、第二、第三の組織拡大をさせないために、恐怖した会社からの組織破壊攻撃であるのです。また、組織拡大したことに、報復的な攻撃でもあるのです。さらに、12月に山田社長が記者会見でリニアの中間駅の建設費を全額負担で行うことを打ち出して、リニア総建設費約10兆円弱が必要になり膨大な借金を背負うこととなります。会社として、組合を御用化にすることにより、チェック機能を麻痺させ、何があんでもリニアを走らせたいたいのです。そのために、私たちの組織を破壊するために、ボーナスカット攻撃があるのです。

私たちは、ボーナスカットをはじめとしたあらゆる攻撃を許さず、職場の諸問題の解決に向け、反撃の体勢を強化しよう！！